

平成30年2月20日(火)
日高新聞

悲劇の皇子有間皇子や宮子姫

メインの展示物をリニューアル



有間皇子と宮子姫の衣装や説明文、関係資料を展示している

東山の森 Ark が貴重な資料を提供



「東山の森Ark」が所蔵する岩内1号墳の発掘当時の新聞資料や各種埋葬品資料、会員で御坊出身の画家・芝草文さん(埼玉県川口市)が描いた「有間皇子絵」も展示。万葉集や日本書紀などの記述にしか登場しない有間皇子を絵画で再現しており、情景を体感できるよう工夫している。見応えたっぷりなコーナーとなっている。

御坊寺内町会館

御坊市中町の御坊寺内町会館の展示物が今月2日からリニューアルされた。メインには「御坊の歴史・伝統・文化特集」として宮子姫や有間皇子の衣装、道成寺縁起絵巻の写本、中世の豪族湯川氏の小松原館と亀山城址関係資料を展示。とくに悲劇の皇子有間皇子は古代顕彰「東山の森Ark」(東陸子代表理事)提供の資料が充実しており、広いスペースを使って紹介している。このほか偉人コーナーに養鶏産業の父といわれる吉田八五郎氏と清高の画家・日高昌克氏を追加。日高高校と御坊商工の甲子園出場の軌跡コーナーも新設している。新しい展示を特集で紹介する。



偉人コーナーに吉田氏と日高氏の資料を展示

明などを展示して子姫と有間皇子の衣装は、劇団ARK YUから借りており、宮子姫物語の紙芝居、有間皇子の説明文などを展示している。道成寺縁起絵巻は色づきの写本と未完成の絵巻をカラースペースに広げており、貴重な資料となっている。このほか中世の豪族湯川氏の小松原館と亀山城址関係資料、日高別院修繕に関する寄附台帳の写本など御坊の歴史を学べる内容になっている。

日高と御坊商工の甲子園軌跡も



甲子園出場時のユニホームなどを並べている

高校野球ファン必見

反の罪で白浜への護送の途次に無念を胸に歌を詠んだとき、サフ展示場では紀州鉄道フォトコンテスト入選作品のほかに、日高高校と御坊商工の甲子園出場の実際の写真パネルなどを新たに追加。日高高校は第28回、61



御坊の歴史のパネルを展示

道成寺縁起絵巻の写本も



道成寺縁起絵巻の写本もメイン場に展示

郷土の偉人コーナーに養鶏業の父吉田氏と清高の画家日高氏

偉人コーナーには吉田氏と日高氏の2人を新たに追加。吉田氏は明治49年12月19日に吉田で生まれ、戦後の昭和21年に11月に採卵養鶏業を始めた。日高氏は明治14年生まれで、画家として郷土の美術文化の発展に大きく貢献した。2人の絵画や日高氏直筆の絵画も並べている。